

■(恵林院)足利義種(義材・義尹) 室町幕府10, 12代将軍。流浪の将軍・流れ公方。将軍再任した唯一の例。

あしかがよしたね

- 1466= 室町幕府8代将軍足利義政の弟義視の子に生まれる。兄義政に子が無く父義視は次期将軍を約束されていたが、前年義政に妻子義尚ができ、義視暗殺計画を皮切りに、諸紛争が連動して爆発するに至り、
- 応仁の乱始・1467= 1歳：応仁の乱が勃発。義政が暗殺計画首謀伊勢貞親を再び側近にしたことから、
- 1468= 2歳：父義視が西軍に投じ、その将軍格となる。

- 義政隠居後見1473= 7歳：義尚が9代将軍となり、細川勝元・山名宗全が相次いで死去して和議の空気となってきたことから、存在があいまいとなるも、そのまま西軍に留まるうち、
- 1475= 9歳：

- 応仁の乱終・1477=11歳：西軍の負けとなり、父義視が美濃守護代斎藤妙椿を頼るのに従って京を去り、
- 1478=12歳：義政の和議が成立した後も、上洛する気になれない父義視とともに、

守護土岐氏らに保護されながら、妙椿の才略下、乱避けた文化人の集まる小京都ともいべき町に育つ。

銀閣寺造営始1484=18歳：

- 1487=21歳：子の無かった義尚の猶子とされ、元服。

銀閣寺完成・1489=23歳：この年、9代将軍義尚が出陣中に死去すると、細川政元らが次期将軍に足利義澄を推すのに対し、義政の妻・義尚の母\_日野富子に推され、父とともに上洛して、義政の養子となり、

- 足利義政没・1490=24歳：義政が死去すると、父義視の出家を条件に、\*10代将軍に就任。前将軍義尚の政策を踏襲し、
- 大内義興入京1491=25歳：\_軍事強化を断行するが、父義視が日野富子と対立するようになると、細川政元らが蠢動し始め、
- 明応の政変・1493=27歳：\*畠山政長の要請で畠山義就の子討伐に出陣した隙に、細川政元らがクーデターを起こし、11代将軍に足利義澄が擁立され、さらに政元軍と衝突、畠山政長の敗死後、投降して座敷牢に幽閉(明応の政変)。

- 1496=30歳：畠山政長の家臣の手引きで\_脱出し、越中に逃れ、
- 1498=32歳：最も嫌われていた\_日野富子が死去すると、再起を図るべく、

- 1498=32歳：越前の朝倉氏を頼り、
- 蓮如没・・・1499=33歳：\_上洛を試みるも失敗、大内氏を頼って周防の小京都山口へ落ち延びる。

1502=36歳：

細川政元殺害1507=41歳：\*細川政元が養子細川高国に攻められ敗死、後を継いだ細川澄元と対立が深まる高国と結び、大内義興の支援を得て、再び上洛を試み、足利義澄・細川澄元とも戦わずに逃走したため、将軍に再任される。

- 1509=43歳：将軍としては異例の宮中小番を務めるなど、尊皇家ぶりを示し、細川高国を管領に、大内義興を管領代として、

遣明使・・・1511=45歳：細川澄元が足利義澄を擁して挙兵、一時京が占領されるも撃退するなど、しばらくは安定した政治を行うものの、高国・義興との関係がおかしくなり、

- 1513=47歳：\_義興に帰国を命じるも沙汰やみとなると、出奔。重臣らの恭順を受け入れて戻るが、権威を落とし、

- 1517=51歳：有馬温泉に湯治に向かうと、義興は堺に移動、

義興周防帰国1518=52歳：\*義興が本国防衛のため帰国してしまうと、専横を極めるようになった高国と対立し、

- 1519=53歳：\_細川澄元らの挙兵に大敗した高国の逃亡計画に従わず、

1520=54歳：

足利義晴将軍1521=55歳：\_勢力挽回して京に戻った高国が天皇即位大礼を取仕切るのに耐えられず出奔、和泉から、阿波に逃れ、

寧波の乱・・・1523=57歳：\_流浪の身のまま、没した。